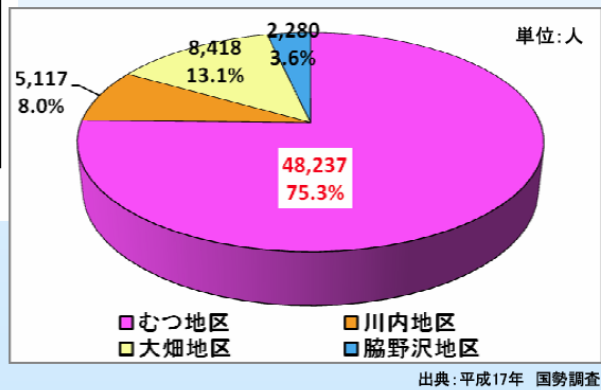
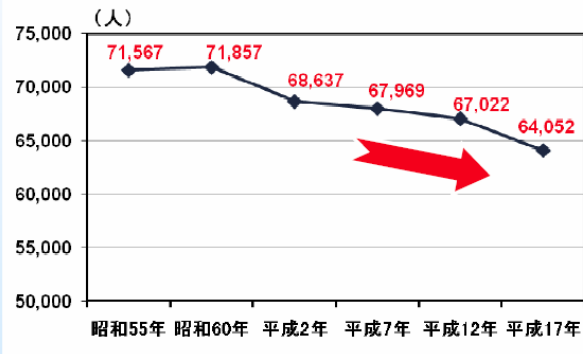


むつ市の現況、市民意向調査の結果について

1. むつ市の現況

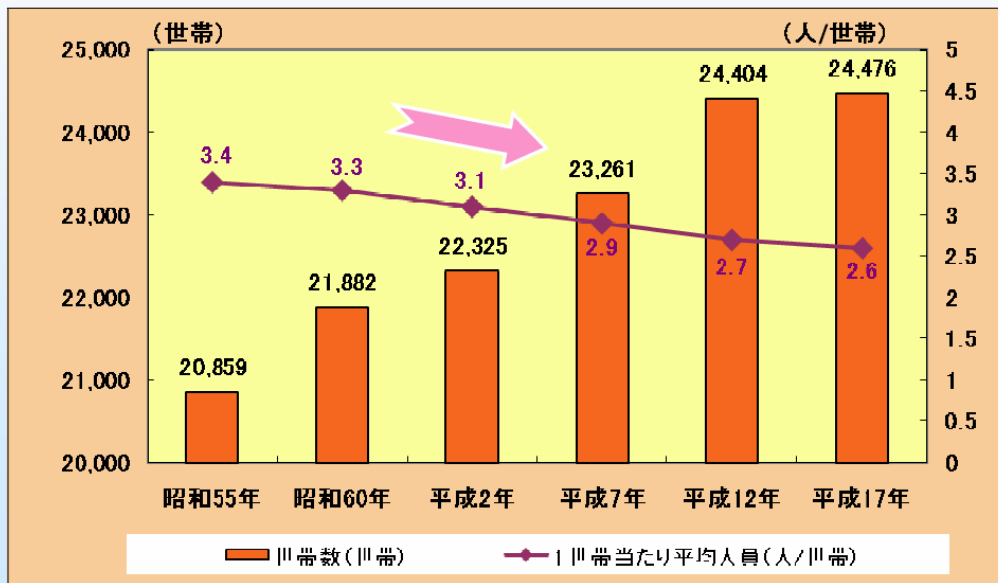
人口・世帯

- 平成17年のむつ市の人口は**6万4,052人**です。
- 人口は**減少傾向**にあります。
- 平成17年のむつ市の人口のうち、むつ地区の人口が約**75%**を占めています。



【世帯数と1世帯当たりの人員】

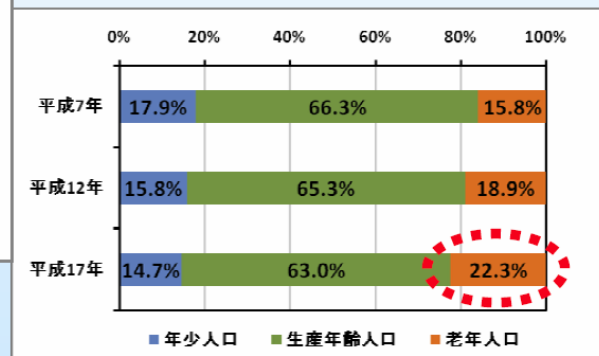
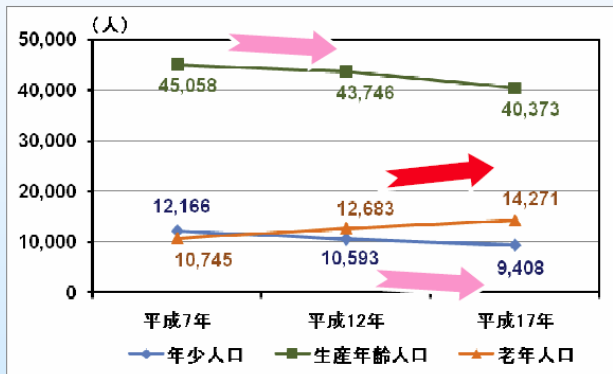
- 平成17年のむつ市の世帯数は**2万4,476世帯**で、**増加傾向**にあります。
- 1世帯当たりの人員は**減少傾向**がみられますが、平成17年のむつ市の1世帯当たりの人員は**2.6人**で、青森県平均の**2.75人**とほぼ同等です。



## 【年齢3区分別割合の推移】

○年少人口、生産年齢人口は**減少傾向**、老年人口は**増加傾向**にあり、**少子高齢化**が進んでいます。

○平成17年のむつ市の**高齢者の割合22.3%**は、青森県平均の**22.7%**とほぼ同等です。



## 【通勤通学】

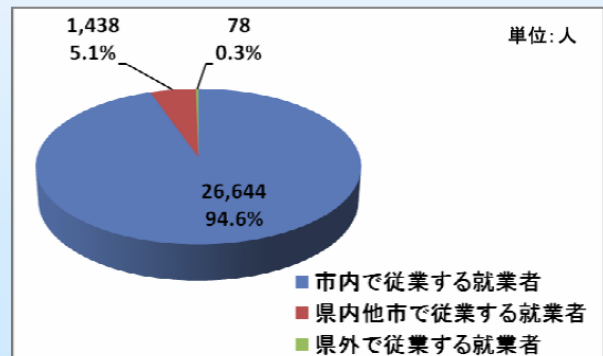
○平成17年のむつ市の通勤通学者は**2万8,160人**です。

○むつ市内に常住し、自市内で従業している人は、市全体の**94.6%**を占めています。

○むつ市内に常住し、青森県内他市町村で従業している人は、市全体の**5.1%**を占めています。

○**下北地域に常住し、むつ市に従業する割合が多いことから、下北地域の拠点都市**であることが伺えます。

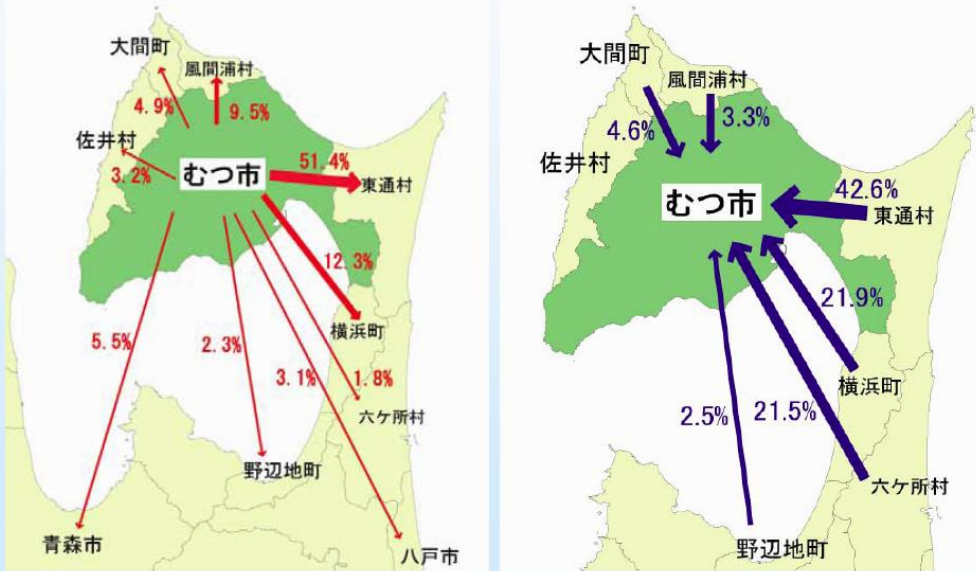
	人	%
市内で従業する就業者	26644	94.6
県内他市で従業する就業者	1438	5.1
県外で従業する就業者	78	0.3
市合計	28160	100.0



## 【通勤通学流動】

○他市町村への通勤・通学先は、**東通村**が過半を占めています。

○他市町村からの通勤・通学先は**東通村**が**42.6%**を占めています。



## 産業

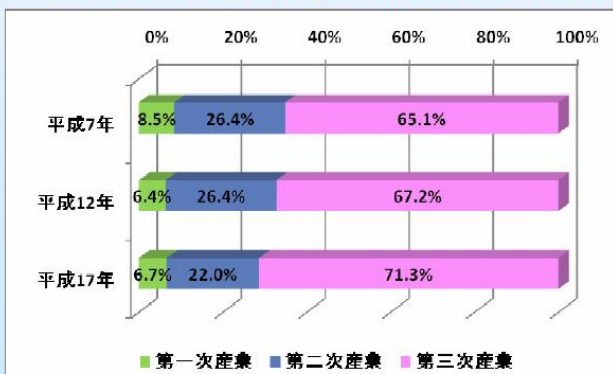
### 【むつ市の産業(大分類)】

○第三次産業人口(商業・サービス業等)の占める割合が最も多く、過半を占めており、増加傾向にあります。

○第二次産業人口(建設、製造等)の割合は、減少傾向にあります。

○第一次産業人口(農林業等)の割合は、平成12年から17年で増加しています。

○近年では、第二次産業の就業者の占める割合が減少したことによって、第一次産業、第三次産業の就業者の占める割合が増加している傾向がみられます。



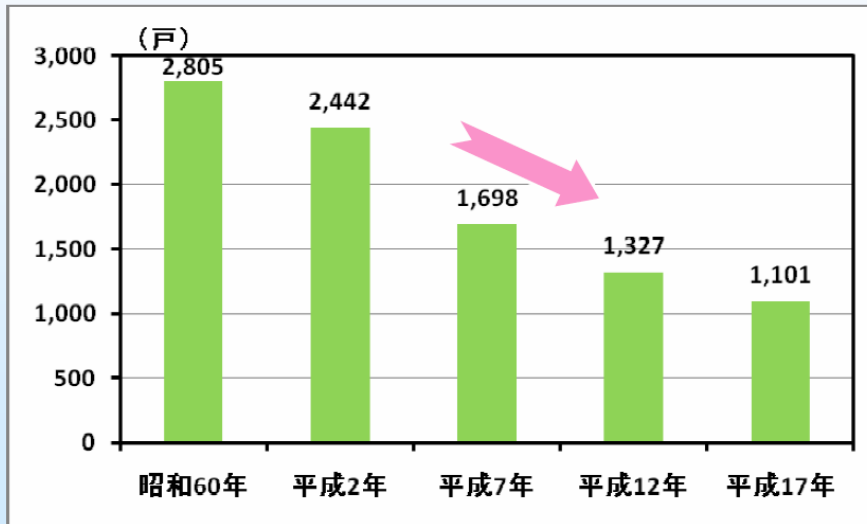
単位:人

	平成7年	平成12年	平成17年
第一次産業	2,771	2,007	1,900
第二次産業	8,623	8,286	6,293
第三次産業	21,233	21,116	20,365
市合計	32,627	31,409	28,558

## 【農業】

○平成17年のむつ市の農家数は、**1,101戸**であり、平成12年から17年の**5年間で226戸(約17%)**減少しています。

○むつ市の農家数は、長期に渡り**減少傾向**にあります。

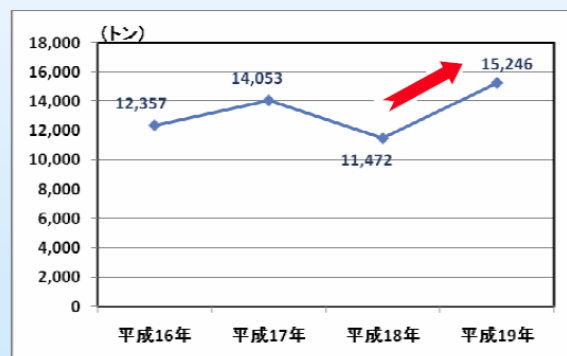
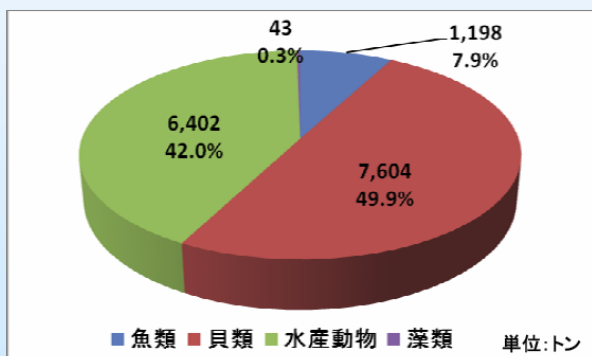


## 【水産業】

○平成19年のむつ市の漁獲数量は、**1万5,246トン**です。

○むつ市の漁獲数量は、近年は**増加傾向**にあります。

○平成19年のむつ市の漁獲数量の**約90%**を貝類、水産動物(イカ、タコ、エビ等)が占めており、特に**イカ釣漁業、養殖漁業の漁獲数量が多くなっています**。

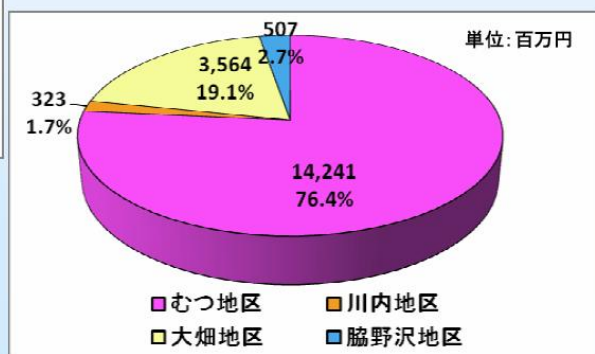
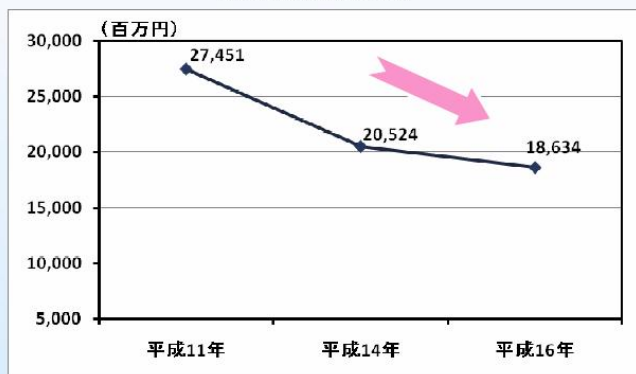


## 【工業】

○むつ市の製造品出荷額は、減少傾向にあります。

○平成16年のむつ市の製造品出荷額の約76%をむつ地区が占めています。

むつ市の製造品出荷額

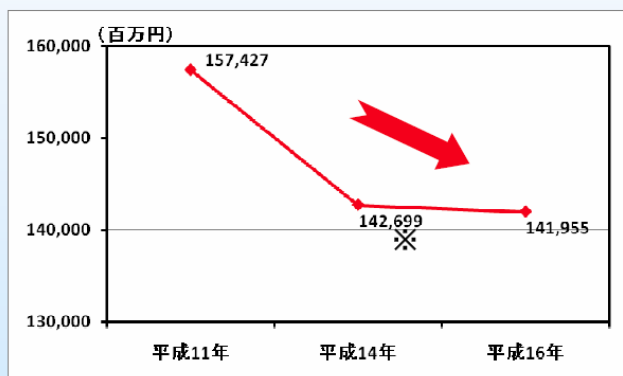


## 【商業】

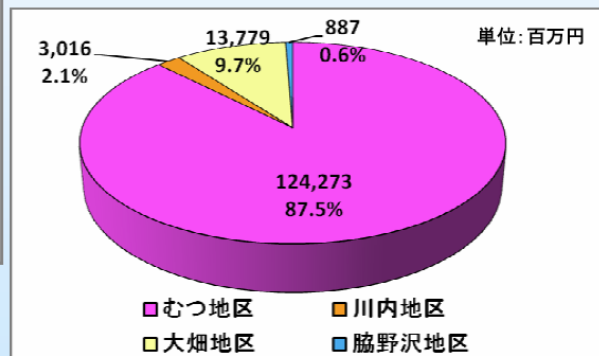
○むつ市の年間商品販売額は、減少傾向にあります。

○平成16年のむつ市の年間商品販売額の約87%をむつ地区が占めています。

むつ市の年間商品販売額



※平成14年の合計は、秘匿数字扱いの脇野沢地区を除く



## 2. 市民意向調査の結果

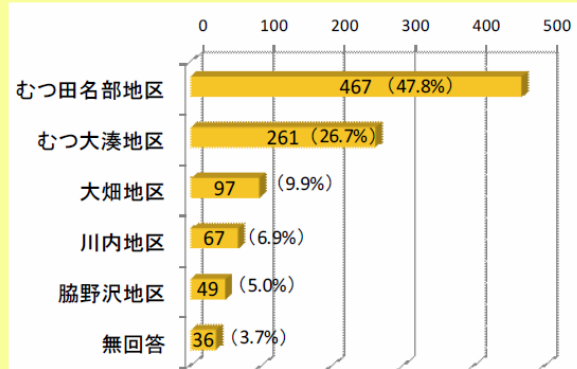
### 《調査の概要》

○調査期間 平成20年12月中に実施

○調査対象 むつ市民3,200人(平成4年4月2日以前生)  
地区別人口比を考慮し、無作為に抽出

○回収結果

- 配布数 3,200票
- 回収数 977票
- 回収率 30.5%

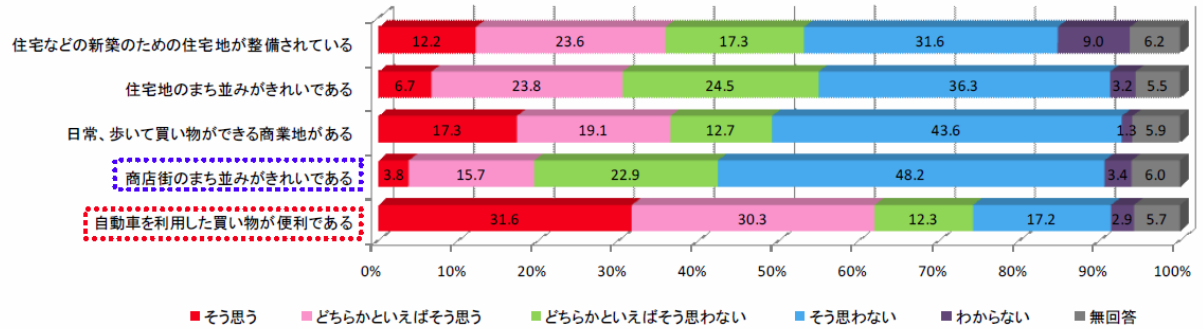


### 《調査の概要》

○設問

- ①回答者の属性
- ②行動別の行き先
- ③まちづくりの状況
- ④残していきたい場所、整備・改善すべき場所
- ⑤建築に関する地域の決まり事
- ⑥将来のまちのイメージ
- ⑦むつ市の中で、各地区が担う役割
- ⑧今後のまちづくりの方向性
- ⑨その他(自由意見)

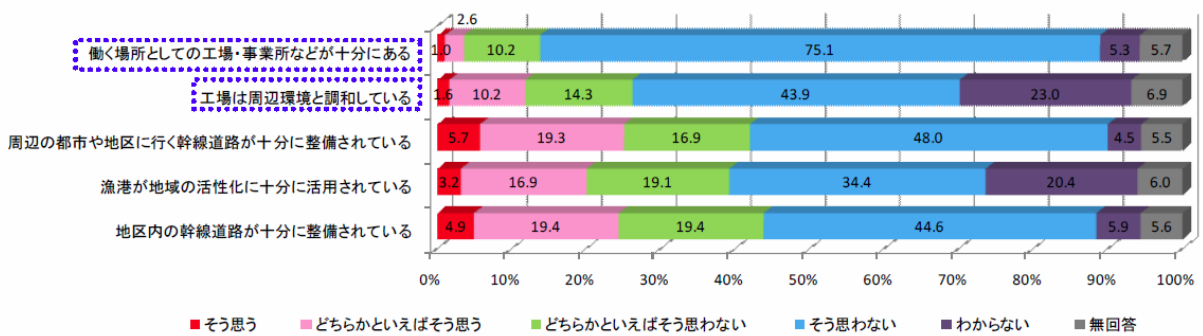
# 《調査結果》まちづくりの状況(市全体)



## ＜住宅、商業＞

- 「商店街のまち並みがきれい」は、評価が低くなっています。
- 「自動車を利用した買い物が便利」は、評価が高くなっています。

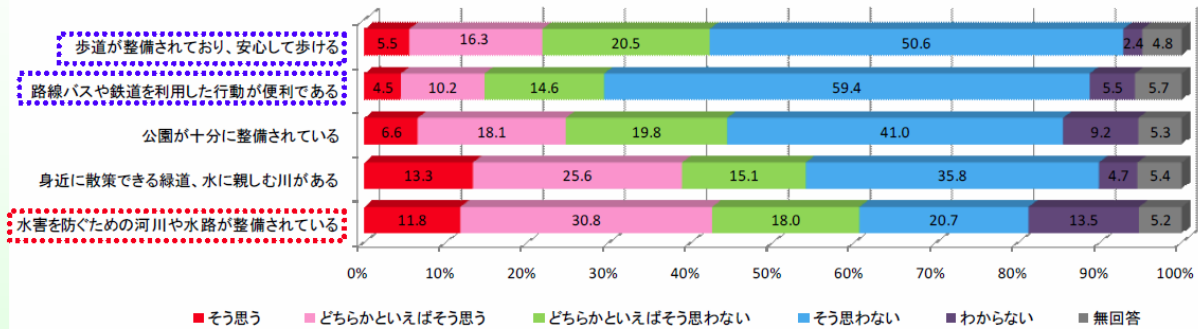
# 《調査結果》まちづくりの状況(市全体)



## ＜工業、交通(その1)＞

- 「働く場所としての工場・事業所などが十分にある」は、特に評価が低くなっています。
- 「工場は周辺環境と調和している」は、評価が低くなっています。

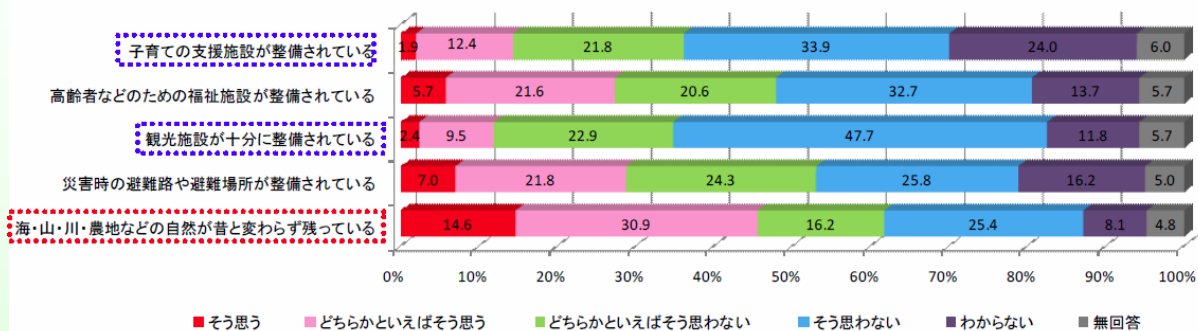
# 《調査結果》まちづくりの状況(市全体)



## ＜交通(その2)、緑地、水辺＞

- 「歩道が整備されており、安心して歩ける」、「路線バスや鉄道を利用した行動が便利」は、評価が低くなっています。
- 「水害を防ぐための河川や水路が整備されている」は、評価が高くなっています。

# 《調査結果》まちづくりの状況(市全体)

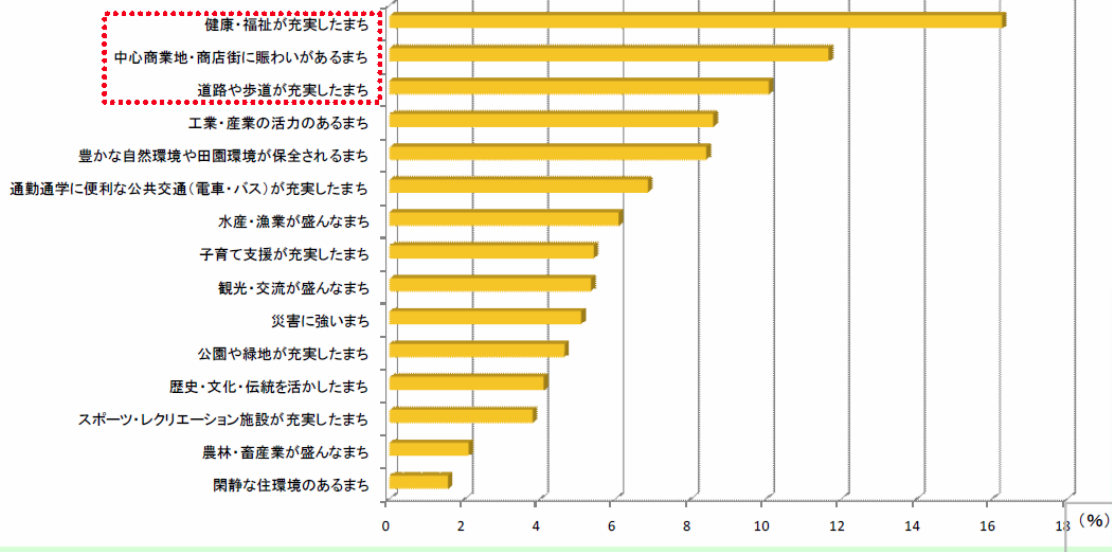


## ＜施設、防災、自然＞

- 「子育ての支援施設が整備されている」、「観光施設が十分に整備されている」は、評価が低くなっています。
- 「海・山・川・農地などの自然が昔と変わらず残っている」は、評価が高くなっています。



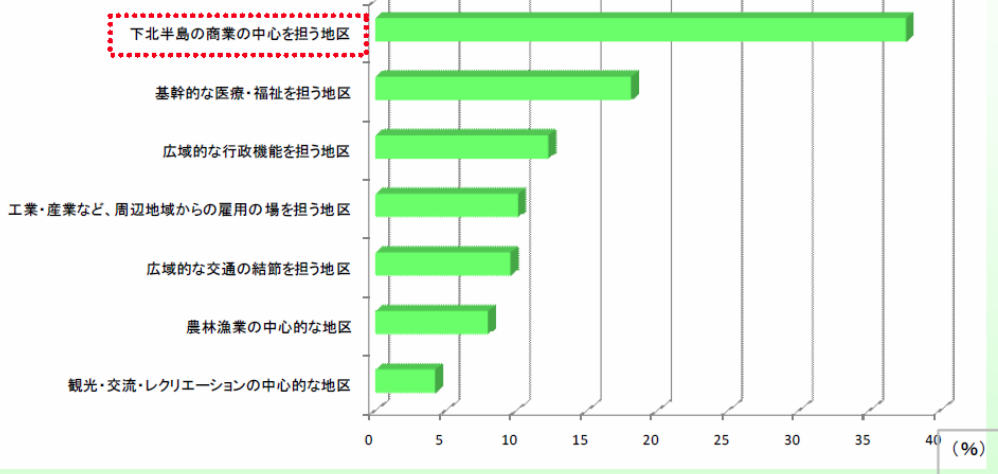
## 《調査結果》むつ市の将来イメージ



○「健康・福祉が充実したまち」、「中心商業地・商店街に賑わいのあるまち」、「道路や歩道が充実したまち」が多くなっています。

## 《調査結果》地区の担う役割

### 田名部地区



○「下北半島の商業の中心を担う地区」という意見が、最も多くなっています。

## 《調査結果》地区の担う役割

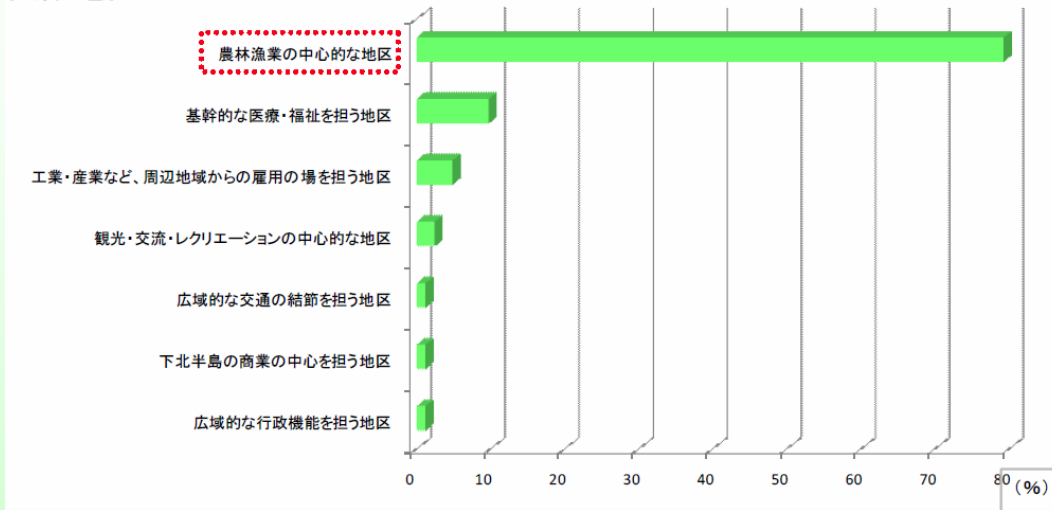
### 大湊地区



○「広域的な交通の結節を担う地区」という意見が、最も多くなっています。

## 《調査結果》地区の担う役割

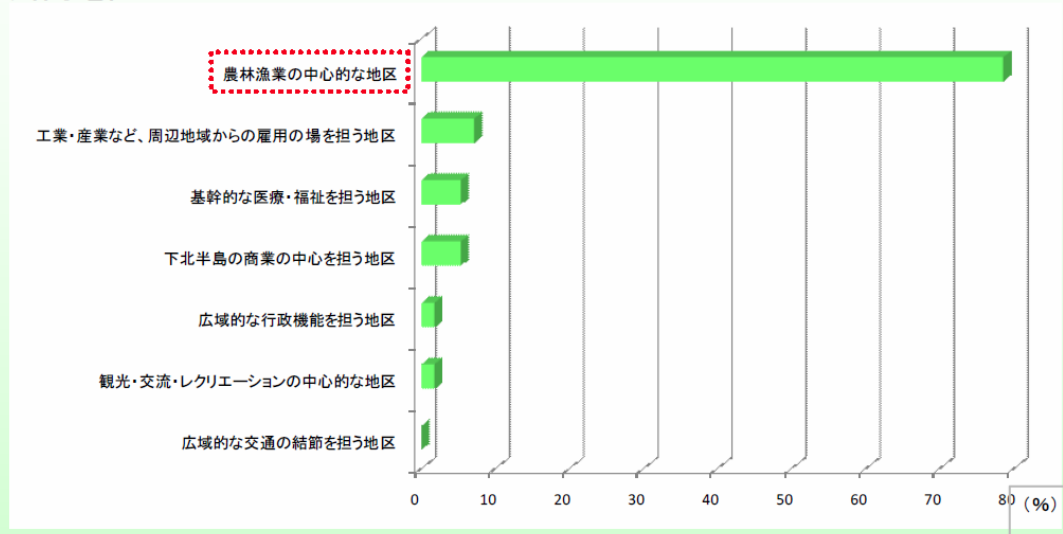
### 大畑地区



○「農林漁業の中心的な地区」という意見が、最も多くなっています。

## 《調査結果》地区の担う役割

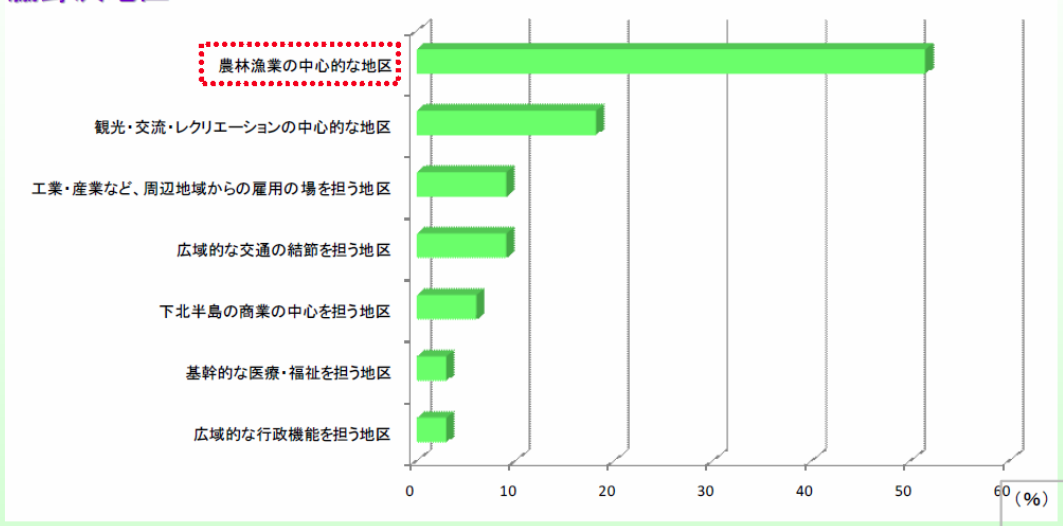
### 川内地区



○「農林漁業の中心的地域」という意見が、最も多くなっています。

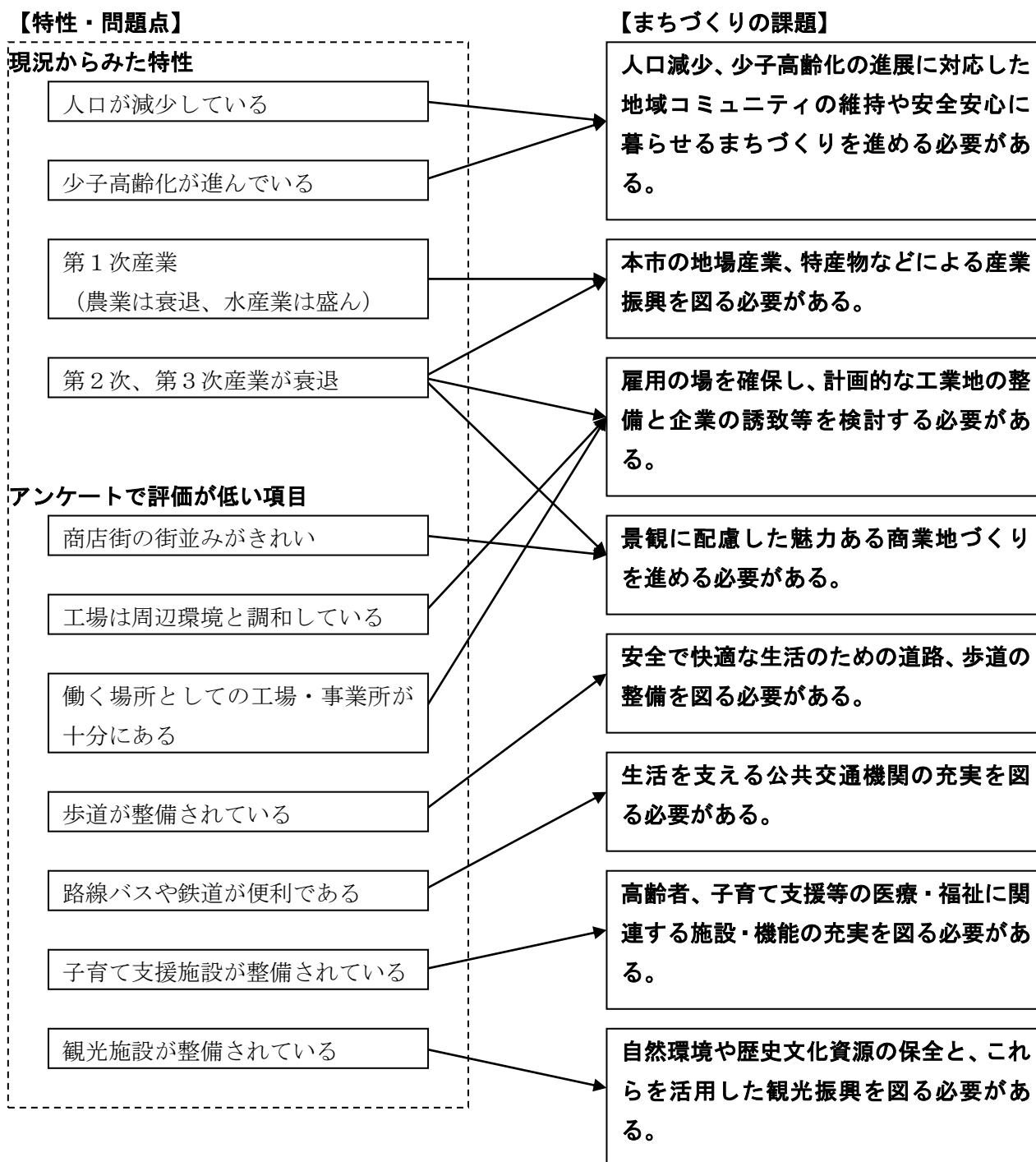
## 《調査結果》地区の担う役割

### 脇野沢地区



○「農林漁業の中心的地域」という意見が、最も多くなっています。

### 3. むつ市の現況、アンケート結果からみたまちづくりの課題



※アンケートについては「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」から選択していただいた内容をもとに評価の低い項目を問題点と認識した。そのため、記載事項はアンケートの設問のままとした。